2023 年度 応用地形判読士資格検定試験(通算第11回)

〔実技試験問題〕

実技試験の注意事項

- (1) 実技試験の実施時間は、12時30分から15時30分までの3時間とする。
- (2) 試験開始後1時間は、退場を認めない。
- (3) 机上には、筆記用具など(鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、定規、三角スケール、色 鉛筆、軟質色鉛筆、鉛筆削り、拡大鏡、実体鏡)、受験票、試験問題用紙、答案用紙、時計以外 のものは置かないこと。
- (4) 通信機器類および電子機器類(ウェアラブル端末(例えばスマートウォッチ)などを含む)の 使用は一切禁じる。また、携帯電話など音を発生させる機器類は、必ず電源を切ること。
- (5) 試験の開始にあたり、試験問題の欠落や印刷に不鮮明な箇所がないことを確認すること。
- (6) 解答は、図示を求める問題に対しては [地形図] と [記号凡例用紙] に、論述を求める問題に対しては「論述式答案用紙] に、それぞれ記入すること。
- ◆ <u>[地形図]</u> と <u>[記号凡例用紙]</u> および <u>[論述式答案用紙]</u> には、<u>受験番号を必ず記入する</u>こと。 受験番号が未記入であったり間違えている答案は、採点からすべて除外し、不合格とする。
- (7) 指定した読図範囲について、問題にしたがい読図すること。実体視できる範囲については、読図に加えて空中写真を判読すること。 これらの結果は、その地形図上に図示すること。図示するにあたり、地形種の輪郭は明確に記入すること。ただし、地形種は、記号、色、模様などにより判別できる程度としてもよい。
- (8) 地形図に記入する地形判読記号,色,模様などは、特に定めない。ただし、使用した地形判読記号などは、別に配布してある[記号凡例用紙]に記入すること。 [記号凡例用紙]は、問1.~問3.それぞれ1枚ずつある。間違えないよう使用すること。
- (9) 論述式の解答は、印刷してあるマス目にしたがい、楷書で読みやすく記入すること。
- (10) 試験問題には、国土地理院発行の地形図と空中写真を使用している。地形図は、注記がある場合を除いて、上を北としている。
- (11) この注意事項の説明後は、原則として質問に応じない。
- (12) 試験終了後、この問題用紙は持ち帰ってもよい。 ただし、①地形図、②記号凡例用紙、③論述式答案用紙、④空中写真は、机の上に残すこと。
- ◆ 新型コロナウイルスによる感染が疑われる症状(発熱、咳、倦怠感など)があるときは、直ちに 監督員に申し出ること。状況に応じ、一旦退席、または試験の辞退をお願いすることがある。

◆ <u>[地形図]</u> と <u>[記号凡例用紙]</u> および <u>[論述式答案用紙]</u> には、 受験番号 を必ず記入すること。

問 1. 地形図に二重線で示した範囲(作図範囲 A)について、地形図読図と空中写真判読によって地すべり地形を抽出し、その結果を地形図上に図示しなさい。

その際、滑落崖や移動体の範囲に着目して、地すべり地形の特徴を示すこと。

地形分類記号などは任意に設定して、別紙の[記号凡例用紙[問1専用]]に記入しなさい。

問 2. 地形図に点線で示した範囲(作図範囲 B)について、地形図読図と空中写真判読によって 段丘を区分したうえで、さらに変動地形を抽出して、それらの結果を地形図上に図示しな さい。

地形分類記号などは任意に設定して、別紙の[記号凡例用紙[問2専用]]に記入しなさい。

問3. 地形図に実線で示した範囲(作図範囲 C)について、地形図読図と空中写真判読によって **平野の地形を分類**し、その結果を地形図上に図示しなさい。

地形分類記号などは任意に設定して、別紙の[記号凡例用紙[問3専用]]に記入しなさい。

問 4. 地形図の全域から得られる地域特性を踏まえ、実線の範囲(作図範囲 C)で発生する可能性が高い具体的な自然災害現象を挙げ、その地形的・地質的な根拠を、[論述式答案用紙]に合計 800 字を超えないように記述しなさい。

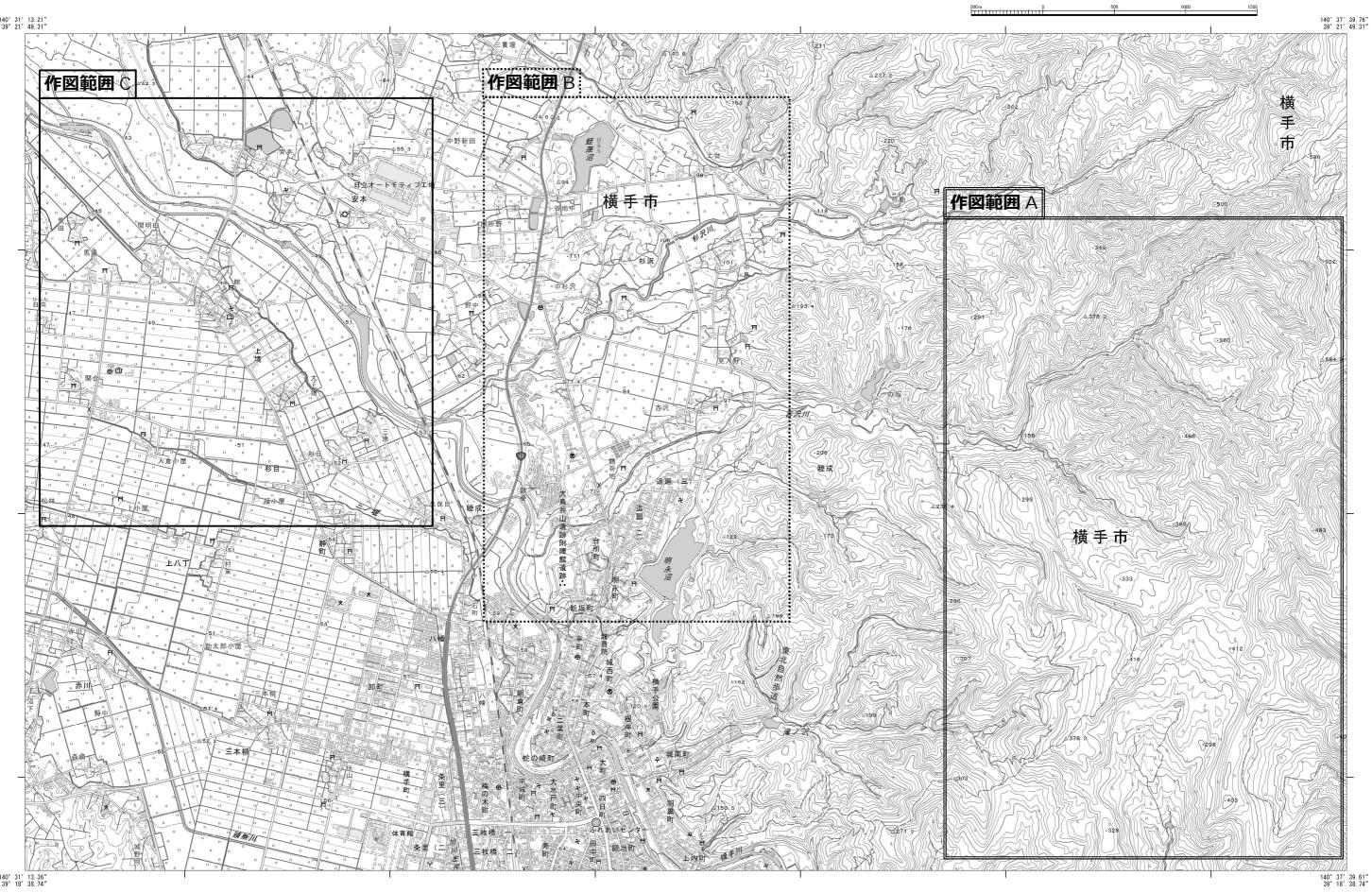
必要に応じ、地形図中の参照する地点や地域に、記号や番号などを付してもよい。

<参考>

地 形 図 国土地理院「電子地形図 25000」/出題範囲は図示の緯度・経度を参照

空中写真 整理番号: USA / コース番号: M621 / 写真番号: 329, 330, 331

整理番号: MTO-68-4X / コース番号: C7 / 写真番号: 9, 10, 11, 12, 13



1. 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第54帯、中央子午線は東経141°

2. 図郭に付した短線は経緯度差1分ごとの目盛

3. 高さの基準は東京湾の平均海面

4. 等高線及び等深線の間隔は10メートル

5. 磁気偏角は西偏約8°40′

6. 図式は平成24年電子地形図25000図式

7. 本図上部の枠内には、この地図の購入者が入力したものをそのまま記載しています

令和5年7月19日 調製

著作権所有兼発行者 国土地理院 140.57-39.34-A3-y-20230719-160208-0000